



国際ロータリー第266地区

地区委員会

活動計画書

1989～'90年度

ガバナー 武尾 敬之助

1989年 7月 29日(土)
於：新 阪 急 ホ テ ル

「手に手つないで」

作詞・東京RC 矢野 一郎
作曲

手に手つないで つくる友の輪

輪に輪つないで つくる友垣

手に手 輪に輪 ひろがれまわれ 一つ心に

おお ロータリアン おお ロータリアン

手に手つないで つくる友の輪

輪に輪つないで つくる友垣

手に手 輪に輪 ひろがれまわれ 世界と共に

おお ロータリアン おお ロータリアン

目 次

扉

目次

地区組織図表

着席表

プログラム 5

合同地区委員会開催に当って

 ガバナー 武尾 敬之助 7

 地区ガバナー指名委員会 9

 意義ある業績賞委員会 10

クラブ奉仕部門

 会員増強委員会 11

 広報・雑誌委員会 12

 規定情報委員会 13

 「ロータリーの友」 14

職業奉仕部門

 職業奉仕委員会 16

社会奉仕部門

 社会奉仕委員会 18

 ロータリーボランティア活動委員会 19

 緑化推進委員会 20

青少年奉仕部門

 青少年活動委員会 23

 ローターアクト委員会 24

 インターアクト委員会 27

国際奉仕部門

 世界社会奉仕委員会 29

 青少年交換委員会 31

 米山奨学委員会 35

 国際交流・平和委員会 36

ロータリー財団部門

 ロータリー財団委員会 38

 財団奨学金委員会 39

 研究グループ交換委員会 40

 財団増進委員会 42

 財団学友委員会 43

 ポリオ・プラス委員会 45

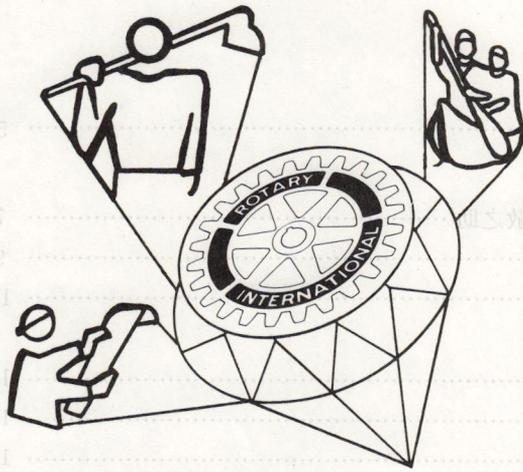
拡大部門

 拡大委員会 47

 財務委員会 48

 地区大会委員会 50

ENJOY ROTARY!



2 大目

3 大目

4 大目

5 大目

6 大目

7 大目

8 大目

9 大目

10 大目

11 大目

12 大目

13 大目

14 大目

15 大目

16 大目

17 大目

18 大目

19 大目

20 大目

21 大目

22 大目

23 大目

24 大目

25 大目

26 大目

27 大目

28 大目

29 大目

30 大目

31 大目

32 大目

33 大目

34 大目

35 大目

36 大目

37 大目

38 大目

39 大目

40 大目

41 大目

42 大目

43 大目

44 大目

45 大目

46 大目

47 大目

48 大目

49 大目

50 大目

51 大目

52 大目

53 大目

54 大目

55 大目

56 大目

57 大目

58 大目

59 大目

60 大目

ロータリーを 楽しもう!

1989-90年度の国際ロータリーのテーマ

High in Archer

ヒュー M. アーチャー
R. I. 会長

61 大目

62 大目

63 大目

64 大目

65 大目

66 大目

67 大目

68 大目

69 大目

70 大目

国際ロータリー第266地区
1989～'90年度 合同地区委員会
プログラム

1989年7月29日(土) 登録 10:00～
於：新阪急ホテル 2F 紫の間

進行：地区代表幹事 大場 一 誠

10:30	開会・点鐘	ガバナー 武尾敬之助
	ロータリー・ソング「奉仕の理想」	
10:33～12:00	本会議	
	就任挨拶・参加者紹介	ガバナー 武尾敬之助
	退任ご挨拶	直前ガバナー 古田 敬三
	委員会本年度の方針と活動	各委員会 委員長
12:00～13:00	休憩・昼食	
13:00～14:30	本会議	
	委員会本年度の方針と活動	各委員会 委員長
14:30～14:45	休憩	
14:45～15:55	本会議	
	委員会本年度の方針と活動	各委員会 委員長
	地区資金の運用について	財務委員長 細川 信義
	地区大会について	委員長 福田 保朝
15:55	閉会の挨拶	
	ロータリー・ソング「手に手つないで」	ガバナー 武尾敬之助
16:00	閉会・点鐘	ガバナー 武尾敬之助

国際ロータリー第266地区
1989～90年度 合同地区委員会

△ ロ タ リ ア △

1989年7月29日(土) 昼 10:00～

場所：札幌急ホマビル3F 宴会の間

進行：地区広報係 大場 一 氏

10:30	開会・会費	ロータリー・メンバーの歓迎	ロータリー・メンバーの歓迎
10:38～15:00	本会 総会	委員全半年度の報告と活動 地区ご挨拶 新任挨拶、参加者紹介	委員全半年度の報告と活動
13:00～13:00	休憩・昼食		
13:00～14:30	本会 総会	委員全半年度の報告と活動	委員全半年度の報告と活動
14:30～14:45	休憩		
14:45～15:25	本会 総会	地区大会について 地区委員の運用について	地区大会について 地区委員の運用について
15:25	閉会の挨拶		
16:00	閉会・会費		

「合同地区委員会開催に当って」

ガバナー 武尾 敬之助

1989～'90年度の R I テーマの説明及び当地区の本年度方針と活動については、去る5月13日の次期地区委員長会議、会長エレクト研修セミナー及び地区協議会に於て既に申し上げましたが、新年度合同地区委員会開催に当り重ねて申し上げます。

1989～'90年度 R I テーマは「ロータリーを楽しもう！・Enjoy Rotary!」であります。

R I ヒュー M・アーチャー会長は「ロータリーを楽しもう！」は親睦と奉仕のさ中にあるテーマだとしています。

- 1) ロータリーを楽しもう！すべてのロータリアンにとって、クラブ会員であることが心満ちた体験となるようにして。
- 2) ロータリーを楽しもう！職業奉仕が各会員の人生において、稔り多き体験となるようにして。
- 3) ロータリーを楽しもう！あなたの地域社会を、みんなで喜ばれるところにして。
- 4) ロータリーを楽しもう！住みやすく素晴らしい世界をつくって。

以上の R I テーマと当地区の現状を考えて、次のように本年度の活動方針を立てました。

- (1) 親睦： R I テーマの通り楽しい笑いのあるロータリークラブであって頂きたい。親睦は例会の出席から始まります。例会出席が待ち遠しいような例会をお願いします。
- (2) ロータリー情報：ロータリー活動にはロータリー情報の徹底が必要です。一方通行にならぬよう気をつけましょう。そして会員の理解が深まれば奉仕活動は一層活発になるでしょう。特に新入会員に対するインフォメーションは重要で、退会防止にもつながります。例会・I.G.F や炉辺会合での情報の伝達に努めて下さい。
- (3) 会員の増強：ロータリークラブの活性化に最も重要なのは会員の増強です。若い有望な会員を1人でも多く入会させて、立派なロータリアンに育てましょう。

現在世界では、106万人を越えるロータリアンの数に増えていますが、既成クラブの会員の純増よりもクラブの拡大によるものです。

(4) 思いやりと助けあい：ロータリーの基本は思いやりと助けあいです。そして、それがロータリー活動を喜び楽しむ心なのです。この奉仕の心で、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の部門の中で、実行出来る活動を取り上げて下さい。本年度は地区の社会奉仕部門にロータリー・ボランティア活動委員会を設けて活動を始めたいと思います。

(5) クラブの自主性：ロータリークラブには定められた定款細則があります。これに違反することは許されませんが、運用の妙によって夫々のクラブの自主性を大いに発揮して下さい。

以上の地区方針に基づいて次の諸活動推進にご協力下さい。

1. 会員増強及びクラブ拡大への努力。8月は会員増強月間です。
2. 「国際花と緑の博覧会」へ出展のための募金活動として、第2年目1人当たり5千円（2年間で1万円）の寄付協力の要請をする。
3. ポリオ・プラス募金はその未達クラブへの協力を要請する。
4. 1990年6月のU.S.Aポートランドに於ける国際大会への参加を促進する。
5. 地区にロータリー・ボランティア活動委員会を設けて、地域的及び国際的ボランティア活動を推進する。
6. RI会長賞プログラムに各クラブが参加することを要請する。
7. 社会奉仕（高齢者問題、身障児等への奉仕）を推進する。
8. 青少年奉仕（IA, RA, RYLA等）の強化推進。若いときに身につけた倫理的水準は大人になっても残るものです。
9. 職業奉仕ではRIの職業奉仕の新方針を尊重し推進する。
10. ロータリー財団及び米山記念奨学会への募金の協力を要請する。

1989~90年度はRIのテーマ「ロータリーを楽しもう！」を親睦と奉仕のさ中において「行動する」年としたいと考えます。

皆様の御協力をお願いする次第です。

地区ガバナー指名委員会 会員委賞献業るも善意

(編大)三 委員長 古田 敬三(大 阪)	委 員 戸田 孝(八 尾)
(田大)式 委 員 原田 秀雄(大 阪 北)	同 世戸 一夫(大阪難波)
(東大)新 員 同 伊藤 恭一(大 阪)	同 中村 俊一(東 大 阪)
同 峯村 英薫(大 阪 東)	同 中西 正二(大 阪 西)
同 平井常次郎(大 阪 南)	同 坂東 宏(吹 田)
同 伊瀬 芳吉(池 田)	同 松本 良諄(大 阪 東)
同 種田 憲次(大阪住吉)	

- 1) 地区ガバナー指名委員会規約に基づき、ガバナー月信2号において、1991～'92年度の地区ガバナー・ノミネー候補者の指名案を各クラブより提出するよう要請し、その最終期限を9月末日とする。
- 2) 10月1日以降、出来るだけ早く指名委員会を開き、候補者の指名を行い、ガバナー月信6号ないし7号で公示し、7号ないし8号でガバナー・ノミネーの宣言を行う。

意義ある業績賞委員会 会員委各計一七八廿四組

(組一八) 委員長 古田 敬三(大阪)
(組一八) 委員 坂東 宏(吹田)
(組一八) 委員 松本 良諄(大阪東)
(組一八) 委員 同 松本 良諄(大阪東)
(組一八) 委員 同 松本 良諄(大阪東)

- 1) 11月ガバナー月信2号において、選定基準と委員会に関する発表を行い、申請期限を10月末日とすることを公示する。(申請手続については手続要覧41～42頁参照)
- 2) 12月1日までに選考委員会を開催し、5クラブまでを限度として、受賞クラブを選び、ガバナーに送達する。
- 3) 各ロータリークラブに対して、幅広い奉仕活動の実践につき積極的に申請することを勧奨する。

クラブ奉仕部門

担当バスト・ガバナー 古田 敬 三(大阪)

会員増強委員会

委員長 和田 俊 一(大阪平野)

委員 大枝 朗(吹田)

同 中谷 治(大阪城東)

同 山本 三雄(大阪大淀)

同 大津 久直(大阪東淀)

同 八田 昌三(豊中南)

1989～90年度R Iアーチャー会長の「ロータリーを楽しもう」の意を体しロータリーの楽しみを皆に分ち合うために会員増強は重要な課題になっている。

質か量かの問題があるが「数は力なり」といっても、それが「烏合の衆」になってはいけない。「誠実な人」を選んで質の向上を奨励していく方向に進んで行くことが、寧ろ力強いクラブへの発展と増強に繋がるのではないかと思う。

よって当委員会ではこれらを踏まえ、本年度の活動計画を下記のとおりとしてお互いに切磋琢磨し、積極的な会員増強への達成に努力したい。

1. 会員数50名未満のクラブの50人達成への努力を前年度に引き続き促進する。
2. 拡大を除く年間の純増を1クラブ当り3%以上とする。
3. 退会者の退会要因を調査し、特に退会は入会から三年程度で3割ある点を重視して、この三年間のクラブライフの内容を究明し退会の防止に努める。
4. 各クラブの会員増強委員会は夫々のクラブ会長、幹事に充分なる認識を求め、全会員が増強に協力するよう要請する。
5. 各クラブの地区内における職業分類の未充填部分を補充する。

又会員がシニアとなり空白となった職業分類の再充填を行うよう奨励する。

広報・雑誌委員会

門 陪 廿 奉 七 二 七

委員長 福 西 幸 夫(大阪心齋橋)

委員 足 達 忠 利(吹 田)

同 木 戸 栄 久(大 阪)

同 田 中 経 久(大 阪 東)

同 小 松 陽 一 郎(大 阪 阪 和)

同 竹 田 正 司(大阪心齋橋)

I. 活動方針

- ① 本年度R Iテーマ「ロータリーを楽しもう」を大いにPRして、より楽しいロータリークラブになるよう努力する。
- ② 各報道機関との関係を密にして、ロータリークラブの各奉仕活動の実態を、よりキメ細やかに取材・広報する。
- ③ 「ロータリーの友」誌に対するロータリアンの関心を昂める為、積極的な投稿依頼を行う。

II. 活動計画

- ① 8月10日(木)在阪主要新聞、放送、通信社の幹部とガバナーとの懇談会を開催。
- ② 前年同様、地区内各RCの広報委員会、雑誌委員会にアンケートを実施。
- ③ 9月5日(火)地区内各RC雑誌委員長会を開催。
- ④ 9月18日(月)地区内各RC広報委員長会を開催。
- ⑤ 4月の雑誌月間には「ロータリーの友」誌のPRを積極的に行う。
- ⑥ '90年4月開催の花博に協力する。

規定情報委員会

「支のーりまーロ」

委員長 大西 淳 (大阪平野)

委員 吉野 昭夫 (大阪中央)

同 板垣 周男 (豊中-大阪
国際空港)

同 江原 政吉 (茨木東)

同 三宅 謙伍 (大阪平野)

同 水合 山一 (大阪堂島)

- 1) 1989年規定審議会の行なった決定に伴う新规定関連の「情報システム・マニュアル」の一部改訂。
- 2) 同新规定に伴う「職業分類 別冊」(総論編)の原稿一部改訂および発行
- 3) 改正諸規定に関する地区内クラブ会員に対する情報提供
 - ① クラブ規定あるいは、情報委員長会議の開催。
 - ② クラブ例会、その他会合での「システム・マニュアル」の積極的活用の勧奨。
- 4) 1月「ロータリー理解推進月間」におけるロータリー情報活動プログラムの推進。
- 5) 新刊「職業分類表」を参考資料とする各クラブ会員職業分類構成の再検討ならびに増強、拡大に対する活用の勧奨。

「ロータリーの友」

地区委員 中塚 良太郎 (大阪北)

I 「ロータリーの友」合同委員会

ロータリーの友委員会では、顧問、地区委員、常任委員会合同会議を奇数月の隔月に開催しており、今年度第1回委員会を7月1日東京プリンスホテルにて新年度に当たって諸事項の検討及び決定が行われます。以後9月、11月、1月、3月、5月に開催の予定であります。

II 「ロータリーの友」への出稿

地区委員として「地区の概況」「地区のたより」「わがまち、わが地区」のページの編集を担当します。

1. 地区の概況 1989年7月号
2. 地区のたより 1990年3月号 (1989年12月20日締切)
3. わがまち、わが地区
1989年10月号 (8月10日締切)
1990年5月号 (3月9日締切)

〔主要掲載記事〕

武尾ガバナーの頁、ガバナー座談会、地区大会告知板、地区大会略報。

「地区のたより」は例えば、わがクラブの自慢、変わったクラブの話、珍談、奇談、迷説など明るく楽しい読みものを希望します。

「わがまち、わが地区」は珍しい行事の話題、名所・旧跡の紹介、全国のロータリアンに紹介したいトピックスなど面白い原稿を期待しております。

III 活動方針

ガバナーとロータリーの友委員、地区広報・雑誌委員長、クラブ雑誌委員長とのコミュニケーションを大切にして楽しく読み易い「ロータリーの友」になるよう一層の投稿を勧めます。

会員委員奉業勤

- (副 大) 大 妻 眞 川 員 委
- (副 大) 東 朝 妻 本 員 委
- (理 計 副 大) 瀬 津 井 同
- (南 東 副 大) 一 堀 眞 同
- (中 東 副 大) 島 川 吉 同
- (北 西 副 大) 高 橋 井 同

捨 衣 本 基 .1

人間の特長は「奉業勤」に捨て着る。奉業勤は、社会生活の中心であり、人生の目的を達成するための重要な手段である。奉業勤は、個人としての成長と、社会への貢献を同時に実現させることができる。奉業勤は、人生の喜びと意義を創り出す鍵である。

MEMO

奉業勤は、人生の目的を達成するための重要な手段である。奉業勤は、個人としての成長と、社会への貢献を同時に実現させることができる。奉業勤は、人生の喜びと意義を創り出す鍵である。

奉業勤は、人生の目的を達成するための重要な手段である。奉業勤は、個人としての成長と、社会への貢献を同時に実現させることができる。奉業勤は、人生の喜びと意義を創り出す鍵である。

画 摺 雑 語 .5

奉業勤は、人生の目的を達成するための重要な手段である。奉業勤は、個人としての成長と、社会への貢献を同時に実現させることができる。奉業勤は、人生の喜びと意義を創り出す鍵である。

奉業勤は、人生の目的を達成するための重要な手段である。奉業勤は、個人としての成長と、社会への貢献を同時に実現させることができる。奉業勤は、人生の喜びと意義を創り出す鍵である。

職 業 奉 仕 部 門

担当パスト・ガバナー 中 西 正 二(大阪西)

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長 川 淵 秀 夫(大 阪)
委員 本 多 博(東 大 阪)
同 丹 野 勝(大阪阿倍野)
同 則 尾 誠 一(大阪城南)
同 吉 川 稔(寝 屋 川)
同 亀 井 節 治(大阪西北)

1. 基 本 方 針

1987年のR I 理事会で採択された職業奉仕の新方針は「職業奉仕は純粋に個人的な責務であるという従来の考え方から、むしろクラブとロータリアン個人の両方の責務」となったことにポイントがある。

この意味は綱領をみても明らかのように、職業奉仕はあくまでもロータリアン一人ひとりの個人的責務であることに変わりはなく、ただ職業奉仕にも社会や国際奉仕と同じように、クラブとしての協同活動が加わったに過ぎない。

以上の理解に立って、ロータリーの金看板ともいべき会員それぞれの実業及び専門職業の道徳的水準を高めるため、どんな施策が考えられるか、並びに新方針に基く四つの行動目標と小委員会設置について、地区内クラブにアドバイスをしたいと考える。

2. 活 動 計 画

(1) ロータリアンが職業奉仕の個人的責務を最もよく遂行するには、

a. 「四つのテスト」の周知徹底

社会奉仕部門

担当パスト・ガバナー 松本良諄(大阪東)

社会奉仕委員会

- 委員長 三好 宏(大阪平野)
- 委員 浜田 実男(高槻東)
- 同 新津 敬直(大阪西)
- 同 藤田 静男(大阪北)
- 同 依岡 孝明(大阪平野)
- 同 外山 紀郎(大阪なにわ)
- 同 平田 啓治郎(大阪西南)
- 同 安達 達彦(日研(大阪北淀))

〔I〕 活動方針

ロータリーにおける奉仕委員会のなかでも当委員会は身体をもって奉仕の体験を通じて個人としての奉仕の精神を啓発することを要求されています。

本年度のヒューマンアーチャーRI会長の方針に沿って「ロータリーを楽しもう！」を実践の場で展開するよう鼓吹したいと思います。

- 1) 地区内各クラブの社会奉仕活動にとって参考となる資料ならびに情報の提供に努め、奉仕活動の活性化に努力する。
- 2) 各クラブ単位の社会奉仕活動は全員参加により行われるもので、奉仕の理想を目指すための実験活動であることを認識していただくように啓蒙する。
- 3) 地区委員会としても上記1) 2)の方針を具現しうるような「地区挙げて」の奉仕活動を行う。

〔II〕活動計画

- 1) アンケート調査の実施
 - ① 1988～89年度の各クラブの実績
 - ② 1989～90年度の各クラブの活動計画
 - ③ 各クラブの社会奉仕活動を行う上の問題点
 - ④ 地区推奨の「高齢者問題」「ボランティア問題」に関する事業の実施又は今後の推進計画。
 - ⑤ 「地区挙げての実験行事」として各クラブからの適当と思われるプロジェクトの提示。
- 2) 高齢者問題に対する具体的マニュアルの作成と推進。
- 3) 地区挙げての実験的奉仕活動の実施。

ロータリー・ボランティア活動委員会

委員長 小山 隆三 (大阪阪南)

委員 四 碓 行 雄 (大阪阪南)

同 寺 井 種 伯 (大阪天満橋)

同 北 浦 信 行 (高槻東)

同 杉 本 久仁一 (八尾中)

今年度R. I. では、向こう3年間試験的にロータリアンのボランティア活動というプログラムが新たに掲げられ、このため地区に於ても初めてボランティア活動委員会が設置されることとなりました。

現在、地域社会における福祉活動は、従来の行政主導型からそれぞれ地域住民ぐるみによる各種の福祉活動がおこなわれている状況であります。例えば、高齢化社会の問題として、独居老人に対する援助活動は、公的施設のみではカバーできず、所謂在宅ケアに対し地域住民のグループサービスがおこなわれています。即ちこれが地域住民にボランティア活動というものを芽生えさせた所以でもあります。然

し自らボランティア活動をおこなう場合、DemandとNeedとは全く異なるものであり、私等は、何れがNeedであるかをよく見極める必要があります。只求められる通り実行するものであってはならないと思います。

このボランティア活動委員会では、新たな気持ちでロータリアン自身がボランティアを見つめ直すと共に、地域社会における様々なボランティア活動を我々が更に発掘し、それを育成、助成する目的で設置されたものであります。即ち従来クラブにおける社会奉仕部門でおこなわれている諸活動は、当然ボランティア精神によるものではあります。例えば、クラブで高齢者に対するサービスを社会奉仕部門で既に実施されている一方で、本委員会によるボランティアビューローの設立に取り組むといったように、将又現在若き青少年の中には、社会に奉仕したい若者も決して少なくないのであって、彼等に私等ロータリアンが、何か示唆するものを提供するという事などが当ボランティア活動委員会の設置された主旨としてご理解いただきたいのであります。決して屋上屋を重ねるものではありません。

当面の活動計画として次の項目を実践したく思っております。

- 1.各クラブにおけるボランティア活動の実体についてアンケート調査
- 2.ボランティアビューロー設立についての勧奨
- 3.なるべく各クラブ社会奉仕担当委員会との情報交換の意味から担当者をお願いする。

以上、初年度であります。余り目標を拡げずに地道に検討実施してゆきたいと思っております。

緑化推進委員会

委員長 圓井東一(大阪北)

委員 谷口尚武(大阪)

同 山本研二郎(大阪南)

同 妹、尾 四 郎 (高 槻 東)
 同 行 松 野 平 (實 (東 大 阪)
 同 細 川 俊 三 (千 里)
 同 新 堂 庄 二 (大 阪 西)
 同 山 本 美 幸 (池 田)

1. 基本的な考え方

1986年11月のR I 理事会で決議されたR I 決議 86-209号「ロータリアンによる植樹と育樹を奨励する件」を契機として、各クラブがロータリアン1人当たり5,000円(1本500円の苗木10本分)の予算で毎年自主的に植樹を行なうとの1987~'88年度からの当地区各クラブの申し合わせは、今日まで相当な成果を挙げてきたが、前年度に引き続き1989~'90年度も各クラブが単独で又は共同して実施していただくことを原則とする。ただし、各クラブの申し合わせにより国際花と緑の博覧会出展(実際は施設参加)のための資金の拠出期間中(前倒し拠出の場合も同じ取り扱い)は、各クラブの自主的な緑化事業は実施しなくてもよいことになっている。なお、各クラブの緑化実績については、期末現在で資料を徴し、一覧表として各クラブへ配布する。

2. 国際花と緑の博覧会への協賛出展の件

1987~'88年度以来地区を挙げて努力してきた国際花と緑の博覧会への協賛出展の件については、関係者の努力もあって幸い日本全国のロータリアンの大方のご協力を得ることができ、1989年4月には約定どおり博覧会協会への第1回払い込みを果すことができた。そして去る4月1日の当地区大会においては、日本全国からのご協賛に感謝し、地区を挙げて博覧会の成功のために協力するとの大会決議が採択された。

出展内容については、かねてからの計画どおり日本のロータリーの共同事業として後世に残る立派なものとするべく、当委員会と博覧会協会の専門家とで鋭意協議、検討した結果、会場内の性格の異なる3つのエリア(街のエリア、山のエリア、野原のエリア)をつなぐゲート広場に沖縄、鹿児島地方のシマサルスベリ8

本を植樹して森をイメージした樹木によるゲートを形づくることになった。

1989～'90年度においては、これまでの経過を踏まえ、1989年秋に予定されている植樹とこれに引き続く細部に亘っての工作物の設置など1990年4月の博覧会開幕に向けての諸準備の達成ならびに最終的な資金拠出の完了と博覧会協会への第2回払い込みを終えることに努力したい。そして当地区が率先して提唱し、日本全国のロータリアンのご協力をいただいで実現するこの立派な出展物が、博覧会の成功のための一助となるよう願うものである。

3. ロータリー財団の特別補助金の件

この博覧会への参加を希望しながら急激な円高の影響や財政上の理由で参加が困難な開発途上国の関係者の来阪を援助、促進するための特別補助金の件については、昨年10月の申請以来今日まで、国際奉仕の観点から当地区とロータリー財団の関係者の間で協議が続けられているが、近く何らかの結論を得て実現をみるよう努力する。

MEMO

青少年奉仕部門

担当パスト・ガバナー 坂 東 宏(吹 田)

青少年活動委員会

委員長 白 井 治 義(大阪西北)

委員 西 正 中(大阪城北)

委員同 山 田 寛 二(豊 中 南)

同 津 田 宏(門 真)

同 山 口 満 雄(箕 面)

同 澤 田 近 裕(大阪心斎橋)

同 桑 原 正 範(摂 津)

同 宮 敬(大阪東淀)

1989～1990年度青少年活動委員会活動計画案

本年度は諏訪前委員長の後を受け、概ね従来 of 活動計画に則って、それを踏襲する予定であるが、吉川元委員長在任中に行った少年少女ニコニコキャンプを地区レベルにて行い度く予定している。

(1) 8月18日～20日2泊3日の予定にて、能勢野外活動センターに児童約100名程度集めて、ライラの実習テストケースとして、ローターアクトクラブの協力を得て実施し、その成果を勘案し若し成功の様であれば逐年拡大発展さすべく次々年度に、申し送り度く思っている。

(2) 11月3日～5日能勢野外活動センターにて山のライラを摂津RCのホストにて行う予定にてホストクラブは既にライラ実行委員会を発足させその準備に取り組んでいる。

(3) 来春5月3日～5日岬町淡輪の大阪府海洋センターにて海のライラを、大阪東淀R Cをホストに予定している。

(4) その他地区内全R Cの委員長会議では、地区委員会の事業の通達丈でなく、広く意見を求め吸収し地区行事として取り上げるものがあれば実現に向けて前向きに取り組み次々年度には予算の増額を図り度い。

猶又委員会をライラの準備・反省会丈でなく数多く行い意志の疎通を図る所存である。

ローターアクト委員会

委員長 目 幸 等 僊 (大阪天満橋)

委員 北 方 龍 一 (大阪西)

同 阪 口 久仁男 (大阪淀川)

同 北 村 英 一 (吹 田)

同 金 子 孝 治 (大阪平野)

同 三 浦 高 行 (東 大 阪)

I 各提唱クラブのご理解と協力により、19R A Cは、夫々内容、活動の充実発展もさることながら、地区内R A Cの交流親睦は一層活発化しているが、今期は新クラブ創設に努力し、20クラブ以上を目標とする。従って、本委員会は新R A C提唱に際しての援助及び地区青少年委員会の基本方針に協力すると共に、在来のR A C奉仕活動の活性化、活発化に要求される会員増強には、特に提唱クラブの積極的協力を求める。

II 本年度の地区R A Cのターゲットを「出逢いはR A Cから」“Get your opotunity”とし、従来のよき伝統と慣行を踏えつつ、斬新な活動計画のもと、新鮮なプログラムを推進するよう、公式、ゾーン、合同各行事に積極参加を勧め、提唱クラブとの連繫をより密にして、R A C諸活動にロータリアンの参加を呼びかけ、親密

感、親頼感を与えられるよう要請したい。

III 奉仕活動とクラブ及び会員増強計画は次の通りである。

1. 地区米山奨学委員会と合同して、留学生との会合、交流、奉仕活動を考える。
2. 地区奉仕委員会のプログラムに参加、協力する。
3. RAC未提唱クラブに提唱を要請し、(2RC共同で1RAC提唱も歓迎)要望があれば、援助、協力をおし、年度内に1~2RACを拡大したい。

4. 会員増強策としてIAC、RYLA参加者、特にロータリアン子弟、及びロータリアン関係企業より積局的に推薦派遣を強力に推進してもらうと共に、RACの手引き、パンフレットを改訂し、未提唱クラブに効果的に配布宣伝したい。
5. 特にガバナーの公式訪問時に第3、4項に関して未提唱クラブに勧告されるよう要請する。

IV 本年度の海外研修は韓国訪問とし、彼我RACと円滑な精神的交流を意図すると共に、国際親善の実を挙げるためにもロータリアン多数の参加を要望する。

1989~'90年度

第226地区ローターアクト役員

地区代表	山本和良(東大阪)	日	12月	1日
地区幹事	大平佳秀(寝屋川)	土	3月	3日
地区副幹事	桃田重保(大阪西南)	日	4月	4日
地区会計	福本麻美子(八尾東)	金	11月	11日
大阪ゾーン代理	楯本智也(大阪住吉)	土	12月	17日
北大阪ゾーン代理	樋口勝浩(守口)	日	2月	27日
		日	13月	13日
		日	10月	10日
		土	2月	23日

第226地区RAC一覧表 (ABC順)

北大阪ゾーン 枚方RAC, 茨木RAC, 池田RAC, 守口RAC,
(7RAC) 寝屋川RAC, 吹田RAC, 高槻RAC

大阪ゾーン 東大阪RAC, 大阪RAC, 大阪東RAC,
 (12RAC) 大阪平野RAC, 大阪北RAC, 大阪南RAC,
 大阪西RAC, 大阪住吉RAC, 大阪西南RAC,
 大阪天満橋RAC, 大阪淀川RAC, 八尾東RAC

1989～90年度 国際ロータリー第266地区ローターアクト年間行事予定

開催日				行事	主催・ホスト
89年	6月	11日	日	第1回海外研修オリエンテーション	地区
	7月	7日	金	第1回提唱RC・RAC正副委員長会議	地区
		16日	日	第2回海外研修オリエンテーション	地区
		23日	日	第3回海外研修オリエンテーション	地区
		30日	日	地区合同連絡協議会及び 第1回リーダーシップフォーラム	八尾東RAC
	8月	3日	木	海外研修 (韓国ソウル、裡里、慶州)	地区
		9日	水		
		27日	日	第1回総合会長会	吹田RAC
	9月	10日	日	全国統一RACの日 (RYLA) (米山奨学生)	大阪南RAC
	10月	29日	日	新入オリエンテーション	高槻RAC
	11月	19日	日	米山奨学生学友会交流パーティー	地区米山奨学会
		22日	水	身体障害児童等白浜招待旅行奉仕	地区社会奉仕委員
	12月	10日	日	大阪ゾーン・北大阪ゾーン合同ジョイントパーティー	大阪北RAC
90年	1月	12日	金	第2回提唱RC・RAC正副委員長会議	地区
		28日	日	第2回総合会長会及び 第2回リーダーシップフォーラム	大阪天満橋RAC
	3月	3日	土	アジア第1・第3ゾーン年次研修会	第272地区
		4日	日		
		16日	金	266地区RI年次大会参加	地区
	17日	土			
	4月	22日	日	地区スポーツ大会	大阪西南RAC
	5月	13日	日	RAC地区年次大会	東大阪RAC
	6月	10日	日	新旧理事・役員会議	大阪RAC
23日		土	新旧会長会	枚方RAC	

地区ローターアクト委員会 随時
 地区ローターアクト役員会 毎月1回以上
 ゾーン別クラブ会長会 毎月1回

インターアクト委員会

	委員長	重村泰弘 (大阪南西)
	委員	小室甲 (大阪住吉)
	同	藤井則郎 (大東)
	同	奥村安正 (大阪南)
	同	的場勝彌 (大阪うつほ)
	同	仲野欣弥 (大阪阪南)
	同	横井悌一郎 (大阪)
	同	中島孝夫 (八尾)

今年度は、大谷中・高校と明浄学院高校の二校が仲間に加わり、9校。地域規模からすれば、まだまだクラブ数は少ないので、今後も積極的にIAC加盟校を増やしていくことが望まれる。又ロータリークラブからの一方的な要請ではなく、各校からの実情にそくした奉仕活動や地域へのボランティア活動の提案を受け、提唱ロータリークラブが側面からの積極的に協力していく必要がある。

本年度の活動基本計画

1. 各IAC加盟校の横の連絡を密にして他校との交流を深める。
2. 各校で新しい継続事業を提唱する。
3. 海外研修の実施。
4. 年次大会の開催。
5. IAC加盟校の設立推進。

海外研修については本年度4年連続のハワイ研習であるが、前年分の経験を踏まえ、より充実した内容にする。

1989～'90年度 I A C年間行事予定

活 動 項 目	実 施 日	場 所
I A C 顧問会議 (年間活動計画)	1989年 6月17日(土)	大教大付高平野 合同教室
海外研修下見	6月9日(金)～13日(火)	ハワイ・オアフ島
海外研修 オリエンテーション	7月30日(日)	大教大付高平野 合同教室
海外研修(4泊6日)	8月24日(木)～29日(火)	ハワイ・オアフ島
海外研修反省会	9月9日(土)	大教大付高平野 合同教室
I A C 顧問会議 (年次大会準備) (1回目)	10月14日(土)	大教大付高平野 会議室
” (2回目)	11月11日(土)	”
” (3回目)	11月(未定)	”
年次大会	11月19日(日)	大阪国際交流センター
リーダーシップ フォーラム 新入生歓迎会	1990年 6月2日(土)～3日(日)	未 定

MEMO

国際奉仕部門

担当パスト・ガバナー 戸田 孝(八尾)

世界社会奉仕委員会

委員長 宮田 宏章(大阪北)
委員 堀内 顕(八尾東)
同 本田 次男(大阪北)
同 藤井 宏一(大阪西北)
同 西原 漸(高槻東)
同 廣瀬 勘一郎(大阪西南)

当委員会は、極めて有意義なロータリーの奉仕と親善の活動を全員が揃って楽しめるよう、地区のロータリアンの全員が充実感をもってWCSの活動に参加できるように、互いに情報交換を行ったり協力しあって効果的な活動を実施できるように努力する。

MEMO

- 1) クラブ対クラブの世界社会奉仕プロジェクトを推進し、クラブ・レベルによる開発教育を増進するよう意欲的に取り組む。
- 2) 地区の総てのクラブがWCSの活動を深く理解し、クラブ・メンバーが一致協力してWCSの活動を行うよう、あらゆる機会をとらえて広報活動を展開する。
- 3) 武尾ガバナーの方針に基づいて、クラブレベルのプロジェクトを積極的に促進し、各クラブが活発な活動を実施できるよう支援する。
- 4) 各国・各地域における緊急の支援を要する重大な災害の発生に際しては、地区

青少年交換委員会

- 委員長 入江 和夫 (高槻)
- 委員 中野 一 皓 (枚方くずは)
- 同 八木 頼夫 (大塚)
- 同 泉 潔 (豊中-大阪国際空港)
- 同 三宅 一 嘉 (大阪東南)
- 同 毛利 哲人三 (大阪西南)
- 同 村上 白士 (大阪城北)
- 同 林 輝久 (大阪東)

I 主なる年間活動

- 派遣及び受け入れ交換学生オリエンテーション開催。
- 交換学生歓送迎会。
- ホストクラブ、ホストファミリーのオリエンテーション開催。
- レックス、ミーティングの援助協力、交換学生受け入れ、派遣見送り、出迎え。
- 交換学生派遣、受け入れに関する接渉。
- ホームステイに就いてホストファミリー及び来日学生からの率直な意見の聴取。
- 来日学生に対する日本語の教育についての検討。
- 青少年交換派遣地区に於ける日本人学生の実態調査（待遇及び小遣い等について）。
- 交換学生募集は毎年7月より実施しているが、これより以前に募集してはどうかと考えている。
- 来日学生が通学する高等学校の選択とその入学許可願についての検討。
- 交換学生の感想文の発行並びに、ホストクラブ・ホストファミリーへの感謝状作成。
- その他。

II 青少年交換計画と交換ファンド

青少年交換は、国際理解、国際親善を目的とした、手造りの奉仕活動であると
考えられる。従って、その陰で奉仕をされる人々には心から感謝したい。

今年度(1989年度～1990年度)長期派遣の学生は7名である。又国外からは6名
の学生を受け入れる予定である。尚、8月には1988年度～1989年度の日本人及び
外人学生が9名帰国する事になっている。(別表に示す)

青少年交換は、ロータリアンの子弟が参加出来るプログラムであり、ロータリ
アンによる多大の奉仕援助で成立するものであるから、ロータリアンの子弟の積
極的な参加を求めたいと思う。

前年度に引き続いて、交換ファンドの為に地区の全会員から年間2,000円の拠
出金を戴き、それを交換計画実施経費として、交換学生のホストクラブ及び交換
学生に対する援助費に当てる事とする。

(長期交換に対してのみ)

レックス(交換学生OB、OG会)の活動がその機能を充実していくよう援助
し、又レックスには、来日及び派遣交換学生のオリエンテーション等に際して、
各自の体験を生かし、具体的な交換生活を説明させる。又レックス学生にロータ
ーアクト、インターアクトに入るように薦めロータリーとの縁が切れないように
したい。

毎年度、新たに青少年交換に参加するクラブを見出し、4～5年に一度は各ク
ラブが青少年交換を実施されるよう求めたい。又、クラブ単位の青少年交換(短
期交換)についても、情報を集め、出来る限りの援助をしたいと考える。

今年度は、従来の長期交換地区である米国、カナダの諸地区以外に、西ドイツ
(D-180/190)、ニュージーランド、ベルギー、スイス等の諸地区との長期、短
期交換を行なう予定である。

III 交換学生の状況

(1) 派遣学生 (1988年～1989年)

	氏名	性	年齢	ホスト	地区	国名	スポンサーRC
1	北本篤史	男	17	Perter Borough ☎573 枚方市山ノ上5丁目50番12号	D-701	カナダ	枚方
2	大西由美	女	16	New Lynn ☎573 門真市大倉町15-7	D-991	ニュージーランド	大阪阪南
3	峯村真理	女	16	Weston(Toronto)Ontario ☎662 兵庫県西宮市美作町9-27	D-707	カナダ	大阪
4	下出裕子	女	17	Sterling, Illinois ☎631 奈良県奈良市平松町662-4	D-642	アメリカ	大阪難波
5	山村三千子	女	16	Jefferson City ☎560 豊中市刀根山6丁目11-1-810	D-605	アメリカ	吹田西
6	泉朋子	女	16	Layton, Utah ☎560 豊中市山ノ上町6番22号	D-542	アメリカ	豊中-大阪 国際空港
7	村上佳織	女	16	Dinant Haute ☎591 堺市善堤町4丁目38番地の45	D-217	ベルギー	大阪東南
8	熱田邦彦	男	16	Orangeville ☎575 四條畷市清滝中町3番24号	D-707	カナダ	四條畷

※1, 2の2名の交換期間は1988年3月～89年3月迄、他の者は1988年8月より1989年8月迄。

(2) 来日学生 (1988年～1989年)

	氏名	性	年齢	ホストRC	スポンサーRC	地区	国名
1	Laloux Francois Hugo	男	19	大阪東南	Dianat Haute-Meuse	D-217	ベルギー
2	Bell Karen Marie	女	17	豊中-大阪 国際空港	Cedar City	D-542	アメリカ
3	Martin Cheryl Lynn	女	19	大阪	Prot Perry	D-707	カナダ
4	Symons Stacie Lynn	女	17	四條畷	Orangeville	D-707	カナダ
5	McMillan Sandi Alison	女	18	大東	Tillsonburg	D-709	カナダ
6	McCnnell jeremy David	男	18	吹田西	Webster Groves	D-605	アメリカ
7	Campbell Misti Pearl	女	17	枚方	Minden	D-701	カナダ
8	Welch Clara Ann	女	16	大阪難波	Muskegon	D-629	アメリカ
9	Cornelius Simon William	男	16	大阪阪南	Devonport	D-991	ニュージーランド
10	Kahrs Max-Martin	男	17	枚方くずは	Rotenburg(Wumme)	D-185	西ドイツ

※9のCornelius Simon Williamの交換は1989年1月より1990年1月迄。

他の者は総て1988年8月より1989年8月迄。

(3) 派遣学生 (1989年~1990年)

長期交換 (1989年~1990年 3月)

	氏名	性	年齢	ホスト	地区	国名	スポンサーRC
1	湊谷 亜由美	女	17	Hosting RC, Southeast Fortlan	D-510	アメリカ	大阪西南
				☎659 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町12-19			

長期交換 (1989年 8月~1990年 8月)

	氏名	性	年齢	ホスト	地区	国名	スポンサーRC
2	寺野 裕子	女	17	D-595/596	D-595/596	アメリカ	大阪東南
				☎537 大阪市東成区神路3の15の10			
3	岩崎 道子	女	18	D-584	D-584	アメリカ	大 東
				☎573 大阪府枚方市東香里新町8-14			
4	斉藤 明美	女	17	D-709	D-709	カナダ	大阪鶴見
				☎562 大阪府箕面市半町4丁目20番17号			
5	奥澤 みな	女	17	D-605	D-605	アメリカ	大阪うつほ
				☎666 兵庫県川西市鶯の森町13番7号			
6	西藤 訓年	男	16	D-707	D-707	カナダ	大阪北淀
				☎562 大阪府箕面市瀬川4丁目19-12			
7	林 志織	女	17	Hosting RC, Frankfurt-Main	D-180/190	西ドイツ	大 阪 東
				☎563 大阪府池田市室町6-26			

(4) 来日学生 (1989~1990年)

INBOUND STUDENTS

Long Term: (August)

	氏名	性	年齢	ホストRC	スポンサーRC	地区	国名
1	Longley Kristy Lee	女	14	大 東	San Marcos	D-584	U.S.A.
2	Johnson Karen Lynn	女	17	大阪東南	Wabasha	D-595/596	U.S.A.
3	McCallan Tara Lee	女	15	大阪鶴見	Oakuille Trafalger	D-708/709	Canada
4	Taskey Summer Anne	女	16	大阪西南	Vancouver	D-510	U.S.A.
5	McCallie Rachel Rebecca	女	16	大阪うつほ	Kirkwood	D-605	U.S.A.
6	Kerwin Mark	男	16	大阪北淀	Newmarket	D-707	Canada
7				大 阪 東		D-180/190	West Germany

Short Term:

米山奨学委員会

委員長 永野 啓之介 (豊中-大阪
国際空港)

委員 小杉 三朗 (豊中)

同 重光 世洋 (大東)

同 渡辺 斌 (東大阪)

同 井上 幾夫 (大阪淀川)

同 宮田 純夫 (箕面)

同 菅 晃生 (大阪うつほ)

同 増本 猛 (茨城 東)

I. 募 金 目 標

- ・ 1人当り 1万7千円
- ・ 地区総額 8,300万円程度

(1) 普通寄附

各クラブ会員1人当り、4,000円以上をお願いします。

(2) 特別寄附

できるだけ会員全員に準功労者になって頂くようお願いします。

II. 奨学生選考について

10月中旬に申し込み受付を行なう。

専門委員を交えた選考委員会を結成、10月～2月に選考会を随時開催。

(12月 書類選考会・2月 面接試験を含む)

III. 諸行事日程

- ・ クラブ米山委員長会議 ('89.8.31)
- ・ 米山奨学生レクリエーション ('89.11.5)
- ・ 米山奨学生修了者歓送会 ('90.3.)
- ・ 米山奨学生オリエンテーション ('90.5.)

IV. 米 山 月 間

各クラブから依頼があれば地区委員、奨学生、学友会委員等により、卓話を行な

い米山奨学事業への理解と協力をお願いする。

米山奨学委員会

V. 米山学友会(関西)への援助

学友会より活動援助の要請があったので援助金を出すとともに、学友会活動へも積極的に参加し交流を深める。

VI. 1989学年度米山奨学生(1989年4月～1990年3月)

継続受給者	12名	同
新規奨学生	19名	同
(内DisY-B奨学生)	4名	同
C Y 奨学生	1名	同
S Y 奨学生	1名	同
	33名	

奨学生には、米山に関連する諸会合に極力出席させ、ロータリアンとの交流をはかる。

国際交流・平和委員会

委員長 野村 浩 (大阪 港)

委員 稲本 晃 (大阪 東)

同 松本 一夫 (大阪 中央)

同 加納 繁美 (大阪 梅田)

同 三好 秀弘 (八尾 中)

同 井平 悟 (大阪 大手前)

《ロータリー友情交換》

1984年7月1日付にて、RI理事会は2年間クラブや地区において「ロータリー友情交換」と称するプログラムを紹介し2年間試験的に行い実験の結果継続する事を決議しました。現在では32ヶ国以上200を越える。これは親善や理解を促進する一つの方法としてロータリアンやその家族が外国を訪れロータリアンの家庭に滞在

するプログラムである。当地区においてもロータリアンやその家族の外国との交流が多くなって来ている現在、友情交換への参加への理解を働きかける。

《ポートランド国際大会》

1989年～1990年度の国際大会は米国・オレゴン州のポートランドにおいて開催されます。すでにコンベンションビデオ(5分間)が送られ開催地のポートランドの紹介がしてあり大変積極的です。ポートランドはシアトルから近く米国への航空運賃も安くなり行きやすくなっており参加者数も期待出来るので、あらゆる機会を通じて大会参加のアピールを行う。

《姉妹クラブ》

例年のように姉妹クラブ・友好クラブ等の地区の現況を調査するためにアンケートを取り地区の一覧表を作成しガバナー月信に掲載をする。

《平和委員会》

今年度から当委員会は平和委員会を合せて受けもつ事となり新設委員会なので資料は具体的に何もなくR Iからの今後の情報を取りながら検討をし必要に応じてサーキュラーレター又はガバナー月信に掲載をする。

《伝 達》

当委員会に関しての通知、伝達事項又は国際大会に関するニュース等は出来るだけ多くガバナー月信に掲載をする。

ロータリー財団部門

担当パスト・ガバナー 種 田 憲 次(大阪住吉)

ロータリー財団委員会

委員長 種 田 憲 次(大阪住吉)

委 員 名 張 隆 政(吹 田)

同 木 村 英 一(大阪住吉)

同 田 中 純 吉(八 尾)

同 中 田 康 仁(大 阪 南)

同 山 中 文 和(大 阪 南)

※ R.I.事務局と地区内RCの連絡役

〈会員委味平〉

※ 地区の財団活動すべての計画、調整、評価

委員会の責務

- ①地区ガバナーが地区内の財団プログラムをかならず成功させるよう力を貸す。
- ②財団プログラム、増進、寄付、ポール・ハリス・フェローの認定に関して、地区内ロータリアンやクラブから尋ねられたことすべてに答える。 〈董 司〉
- ③小委員会の活動の調整を図る。
- ④大学教員のための補助金のクラブ推薦候補者を面接し、管理委員会に氏名を提出する。
- ⑤ポリオ・プラス・キャンペーン中も財団プログラムに対する通常の経済的支援を奨励する。
- ⑥地区内クラブにロータリー財団月間(11月)に積極的に参加するように推進する。
- ⑦財団情報・補助金についての任務を担当する。

財団奨学金委員会

委員長 名 張 隆 政(吹-080田)

委員 白羽 弥右衛門(大阪阿倍野)

同	大川 進一郎(大 東)
同	阿部 裕(大 阪)
同	塩川 二郎(千 里)
同	西田 陽一(茨 木)
同	大野 真義(高 槻)
同	西原 明 (大阪心斎橋)

本年度活動計画

1. 1990~91年度奨学金申請手続き

本年6月に選考を実施した奨学金受領候補者について、地区確認事項を記載の上、8月上旬には財団本部に送達したい。

2. 財団本部より奨学金受領承諾書の送付があり次第、奨学生及び顧問ロータリアン合同の第一回オリエンテーションを開催。来年3月下旬に第二回、7月上旬に第三回を(壮行会を兼ねて)開催の予定。

3. 来年2月下旬にクラブ財団委員長会議を開催し、奨学金委員会の現状と新年度奨学生募集状況を説明する。

4. 1991~92年度奨学金申請については、報償枠は未定であるが、申請書受付や選考試験については、前回の時期を踏襲し、クラブ締め切りを1990年4月末、ガバナー事務所締め切りを5月中旬、選考試験を6月中に2次に互って実施したい。

5. 本年度受け入れ財団奨学生は

1989年4月より'90年3月まで1年間

アンソニー・カンシル(カナダD629 North Sault Ste. Marie R.C.)

大阪大学法学部

ホストクラブ 高槻RC

カウンセラー 入野敏夫(高槻RC)

6. 受け入れ時期未定なるも、1989-90年度奨学生 (現在東京の国際キリスト教大

学在学中) の2名の奨学生が関西地区の大学に進学することを財団本部より通知されている。詳細決定次第ホストクラブとカウンセラーを依頼する予定である。

7. 1989-90年度奨学生一覧表

(後部同列大)門真合設 1989~90年度 奨学生

氏名	年齢	性別	スポンサークラブ	顧問ロータリアン	留学先	課程	留 学 校
阪上るり子	30	女	高槻東	西川豊蔵	フランス	A	カーン大学
中井さつき	24	女	大阪東	稲本晃	イギリス	A	ランカスター大学
阪井葉子	27	女	千里	八木俊雄	ドイツ	A	ヴッパータール総合大学
朝倉貴子	21	女	大阪住吉	山川真	イギリス	B	東アングリア大学
栗山栄美	22	女	門真	斎藤正巳	アメリカ	A	ヴァージニアコモンウェルス大学
森口由香	26	女	大阪天満橋	西海栄悦	アメリカ	A	メリーランド大学
吉武秀子	21	女	箕面	三島功	スペイン	B	バルセロナ大学
松村真樹	26	男	大阪阿倍野	浦野廣三	アメリカ	A	コーネル大学
池田遊魚	26	女	枚方	小野泰三	西ドイツ	A	ボン大学
佐野哲也	24	男	大東	中島文数	アメリカ	A	カリフォルニア大学ロサンゼルス校
中村都	31	女	豊中-大阪国際空港	中川邦介	カナダ	A	ブリティッシュコロンビア大学
中川恵	21	女	大阪平野	播磨昌幸	フランス	B	アーデンのランス大学
中尾和久	30	男	大阪	桜井良文	アメリカ	A	ハーバード大学医学部
中谷毅	27	男	大阪住吉	崎山耕作	西ドイツ	A	ハインリッヒハイネ大学
中田厚仁	20	男	大阪南	中田康仁	アイオワ州グリーンネルカレッジ		
藤原珠里 (1988~89年度奨学生)	21	女	箕面	多田慶三	アメリカ	A	ハワイ州立大学

※ A：大学院課程 B：大学課程 C：職業研修 D：心身障害者教師 E：ジャーナリズム

研究グループ交換委員会

委員長 木村英一(大阪住吉)

委員 木川稔(摂津)

同 東平介(寝屋川)

同 村上実(池田)

同 細江重(大阪東淀)

同 増田鼎(八尾)

同 山川真(大阪住吉)

同 大内昭男(大阪鶴見)

同 西島修蔵(大阪西南)

同 廣瀬勤一郎(大阪西南)

1989-90年度は、G S E団員の派遣・受入れを実施しないが、1990-91年度の地区研究グループ交換の基本的研究計画立案、ロータリー財団へ補助金申請を行ない、団員募集、選考、派遣準備のため下記の委員会を開催する。

(国) (国大) 津 田 商 員 委 員 会 記

第1回 委員会 9月中旬

1. 1990-91年度地区研究グループ交換の基本的研究計画作製
2. 補助金申請書作製

第2回 委員会 12月初旬

1. 地区派遣ガバナー代理 (団長) 推せん
2. 派遣団員の募集方法、選考方針決定

第3回 委員会 1月初旬

1. 派遣団員募集案内作製、募集切決定
2. 団員選考の具体案作製

第4回 委員会 3月中旬

1. 団員選考試験問題作製

第5回 委員会 4月初旬

1. 派遣団員の書類選考および選考試験の合否判定具体案作製
2. 追加募集の検討

第6回 委員会 4月中旬

1. 団員選考試験実施、成績判定、合格者5名、補欠者2名決定

第7回 委員会 5月初旬

1. 第1回 団員オリエンテーション
2. 必要手続準備

第8回 委員会 5月中旬

1. 第2回 団員オリエンテーション
2. 団服作製、生命保険加入手続

第9回 委員会 6月下旬

1. 第3回 団員オリエンテーション
2. 団員語学研修

財団増進委員会

委員長 田中純吉(八尾)

委員 濱田新(大阪うつほ)

同 松原鍵吉(箕面)

同 大社照史(大阪淀川)

同 加地脩一郎(交野)

同 柳澤忠鷹(大阪住之江)

活動方針

- 1) 地区ロータリー財団委員長を中心として、財団関係各委員会と緊密な連絡を取り、ロータリー財団の意義やその活動の重要性をPRすると共に、財団プログラム推進を金銭面で支持する必要性について会員の認識を喚起する。
- 2) 特に本年度はポリオプラス計画の募金も目標の目途が立ったので、積極的な財団活動を推進するために、此処数年停滞気味であった無条件寄付の増加を計る。
- 3) 本年度当地区の無条件寄付の目標を会員1人当たり100ドル以上と設定し、これの達成に努力する。

活動計画

- 1) 9月2日(土)に開催される財団増進委員会で前年度の実績検討を行い、今年度の具体的な対策を協議する。又同日開催されるクラブ財団委員長会議で委員長に対し、無条件寄付目標達成と今後の安定的な実績確保のため、それぞれのクラブ会員や新入会員にポールハリス準フェローになるよう積極的に勧誘すると共に、既にポールハリスフェローになった会員に対しても2回目、3回目のポールハリスフェローを目標に、ポールハリス準フェローになるよう勧誘方を依頼する。
- 2) 10月に財団増進委員会を開催し、11月に各クラブで、ロータリー財団月間にふさわしい行事を実施するための対応を協議すると共に、月間行事について財団関係委員会に協力を依頼する。
- 3) 2月に財団増進委員会を開催し、年度前半の実績検討を行い、年度後半の具体

的対応を協議する。

- 4) IGFの組別に委員の担当を決め、担当委員はIGFの当日はもとより、その構成クラブの財団委員長と接触を取り、財団に対する理解と協力の増進を計る。又組内に新クラブが誕生した場合も、その新会員の財団に対する理解の増進に努力する。

組別	IGF開催日	ホストクラブ	担当委員
1	9月9日	箕面	松原 鍵吉
5	10月7日	大阪天満橋	田中 純吉
2	11月11日	吹田	濱田 新
6	11月18日	大阪城北	大社 照史
7	1月20日	大阪西南	濱田 新
4	2月3日	東大阪西	田中 純吉
8	2月17日	大阪東南	柳澤 忠麿
3	3月3日	大東	加地 脩郎

財団学友委員会

委員長 中田 康 仁(大阪南)

委員 田川 弘 雄(箕面)

同 西村 一 夫(池田)

同 石田 博 和(箕面中央)

同 大井 勝 利(東大阪西)

同 杉森 芳 雄(東大阪東)

当地区における学友会活動の柱をなすものはPSC活動である。近年、財団増進委員会の活発な広報活動によって、当地区に対する奨学生の割り当ても増え、それにつれてPSC会員も増強された。しかし残念ながら、その活動状況は未だ低調で

ある。当委員会としては、次の諸点を継続重点項目として、本年度の活動方針とする。

1. 学友会名簿の整備

年を追って名簿は整備されてきてはいるが、移動の激しい若い世代の追跡調査を本年も根気よく続けるとともに、会員の最新の情報を収録したい。

2. 奨学生のオリエンテーション

P S C活動の広報を主眼として、奨学生オリエンテーションに参加する。単に留学の手引きをするだけでなく、学友会活動の意義、ひいては参加意欲の昂揚に努めたい。

3. 財団月間の卓話者斡旋

帰国奨学生の大半は、一旦帰国後再び留学する。したがって、少数の元奨学生に卓話依頼が集中することになり、時間的負担が相当きびしいものになっている。改善策を見出したいと思う。

4. 広 報 活 動

「P S Cだより」の発行は、学友会活動のP Rに極めて重要な役割を果たすものである。内容の充実を図り、奨学金受給希望者の参考に資したい。

5. そ の 他

年度、留学先、年齢、留学課程、それぞれ異なる学友を、一つにまとめあげてゆく根本の絆は、ロータリーの奉仕の理想である。考えてみれば、気の遠くなるような話である。同じことを、くり返しくり返しやっっていかなければならない課題であろう。ロータリアン諸兄のご支援を望むこと切である。

ポリオ・プラス委員会

- 委員長 山 中 文 和 (大 阪 南)
- 委員 阪 口 金 勇 (大 阪 柏 原)
- 同 好 三 郎 丸 (大 阪 天 満 橋)
- 同 木 村 吉 弥 太 (大 阪 南)
- 同 池 田 栄 吉 (池 田 くれは)
- 同 行 経 世 (枚 方)

募 金 の 現 状

1. 266地区；

平成元年3月末日現在でおかげさまで地区平均最終目標額に対するパーセントは98%まで達成することができました。

ロ) 大きな問題点は100%をオーバーしたクラブが33クラブありますと同時に地区平均の98%以下のクラブが35残っております。

ハ) 今年度の大きな目標は低率のクラブへの募金の勧奨を行い、バランスをとっていかなければならぬと思っております。

ニ) 併せて、100%をオーバーしたクラブには事情がゆるす限り今後は無条件の寄付に回していただくようお願いを始めました。

2. 全日本での状況；

34億円強集まり、最終目標40億に対し82.9%までまいりました。

3. 全世界の状況；

2月10日現在、ロータリー財団ポリオ・プラス資金として現金でU S \$ 161, 814, 398の寄付が集まりました。

米国の寄付は2月半ばでU S \$ 7,650万です。日本はU S \$ 2,110万。英国はU S \$ 1,040万です。

4. 全世界の接種状況；

- 補助金の授与が承認された国

(南 洲 大 陸 中 山 北 79カ国

- 支払った補助金総額

(国 際 大 陸 財 政 局) U S \$ 93,611,210

- 予防接種を受けることになる児童の総数

(国 際 大 陸 財 政 局) 454,894,000人

- 既に予防接種を受けた児童の推定数

168,108,000人

林 野 の 金 庫

5. ポリオを撲滅 (ERADICATE) できる予測が立った。

WHOは西暦2000年までにポリオを撲滅できる計画を報じています。この目標は昨年、WHO加盟 166カ国の票決により設定されました。ポリオ撲滅計画を実現するために要する費用を検討し、さらにロータリーとロータリアンがポリオと戦いの闘いに果たす重要な役割について言及しています。

MEMO

： 会 員 の 本 日 全

： 会 員 の 界 世 全

拡 大 部 門 会 員 委 員 会

担当パスト・ガバナー 世 戸 一 夫 (大阪難波)

拡 大 委 員 会

(非西洲大) 義 訓 川 藤 委員委

(西 大) 一 夫 川 藤 委員長兼拡大カウンセラー 世 戸 一 夫 (大阪難波)

(南西洲大) 野 本 本 拡大カウンセラー 森 藤 憲 一 (大阪城)

(非西洲大) 五 藤 用 信 会 同 辻 井 録 郎 (大阪阪南)

同 古 市 実 (大阪北)

同 田 代 通 (守 881口)

同 瀧 川 紀 征 (吹田西)

同 岡 正 典 (大阪西南)

高槻西RCが1989年6月15日高槻東RCをスポンサークラブとして創立総会を開かれますが、認証状伝達式は過年度に行われる可能性もあり、拡大については年度内に努力をして成果は過年度にあがることもあり、創立20年、30年を祝われた実力あるクラブにお願いして新しいクラブをスポンサーされるよう努力を続ける。

(1)

。

1989年3月25日、お隣くマリーローの聖基宝堂

。

(2)

。

。

【 出 支 】

(1)

財 務 委 員 会 門 陪 大 誌

(新報頭大) 夫 一 可 冊 一 ナハセ・イヌハ世財

会 員 委 大 誌

委員長 細 川 信 義 (大阪西北)

委員 吉 川 秀 一 (大 阪)

同 山 本 守 昭 (大阪西南)

同 会 計 伊 藤 正 之 (大阪西北)

1. 1989～1990年の予算は税制改革の消費税3%の影響をまもものに受けることになりました。各収入項目、支出項目につきまして、過去3年間の予算、実績を比較するとともに、ガバナー及び各委員会の重点施策をできるだけ反映できるように作成しました。

なお、本予算書は過日開催された地区協議会・会長部門に提示され、承認されました。

2. [収入の部]

- (1) 地区資金についても、5年連続据置きのため増額の検討いたしましたが、年度当初は据置きでスタートすることとさせて戴きました。

算定基礎のロータリアン数は、1989年3月現在4,902名ですので、年度平均4,930名として算出しました。

- (2) 前期繰越金が毎年減少していること及び地区資金がロータリアンの自然増員のみによっていることから収入金額は、前年と比較して45万円の増加にすぎません。

3. [支出の部]

- (1) 全体といたしまして、消費税の転嫁分を考慮しました。

(2) 委員会活動費のうち主なものについて説明いたしますと、

国際奉仕部門では、「米山奨学委員会」では、地区米山奨学生選考費用25万円
関西学友会活動助成金20万円等により増額しております。

ロータリー財団部門では「研究グループ交換委員会」は、本年度実施しませ
んが、採用試験、オリエンテーションを含む次年度予算分として 350万円及び
委員会費20万円。計 370万円を計上しました。

(非河津人) 障 害 田 部 員 員 委

4. 結果と致しまして、次年度繰越金は53万円減少する予定です。

③ 第266地区ロータリアンの皆様並びに各委員会の熱意で、資金不足をカバーす
る活動をお願い申し上げます。

員委行実会大刈取、ちて基コ檢本基コホる示對レ一ナハヤ刈取更、末平割 (1)
いりまての縣を恩謝利全ノ當重き會員委謝部会大刈取コ心申さばさ、ノ謝縣き全
。すまりはて付録を補録するのこ踏願、こはち非異、たさしま

MEMO

サマアハテホ

全資別既補取力員全1月

バーホーニャてくミ・サ

全資別既補取力員全1月

マモクアハセコBA

全資別既補取力員全1月

すまノ姓母の取はてコ計日一ナハヤノ取、むアノまノ関コ内容津行の全大刈取 (2)
る取逐、りまて全大のノ業よコはその節節、コききき當重の全大刈取の去極、た
会マモクアハセコBA、このまのバノ取コ全大がらる付はたの取謝を全資別既補取力員
。すまりはての取逐を謝部が行はさば録りたさば一員

地区大会委員会

委員長 福田 保 朝 (大阪西北)

プログラム 森 恕 (大阪西北)
委員長

幹 事 高 林 辰 行 (大阪西北)

(1) 昨年末、現地区ガバナーより提示された基本方針に基づき、地区大会実行委員会を組織し、それを中心に地区大会準備委員会を運営し全体構想を練ってまいりましたが、現在さらに、細部について検討を続けております。

(2) 地区大会の日程及び開催場所は、

平成2年3月16日 (金)

会長・幹事懇談会

部門別協議会

RI会長代理歓迎晩餐会

} ホテルプラザ

平成2年3月17日 (土)

本 会 議

ザ・シンフォニーホール

平成2年3月19日 (月)

記念ゴルフ大会

A B Cゴルフクラブ

に決定し、既に会場は確保しております。

(3) 地区大会の行事内容に関しましては、近くガバナー月信にてお知らせ致しますが、過去の地区大会の運営を参考に、厳粛のうちにも楽しい大会であり、参加される皆様に充分ご満足いただけるような大会に致したいものと、ホストクラブ会員一丸となり総力をあげて準備を進めております。

1989~1990年度 国際ロータリー第266地区

収 支 予 算 書

作成 平成元年 4月30日

承認 平成元年 6月 3日

収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額
前 期 繰 越 金	6,000,000	9,000,000
R. I. 交 付 金	800,000	800,000
地 区 資 金 (15,000円×4,930人)	73,950,000	70,500,000
雑 収 入	700,000	700,000
合 計	81,450,000	81,000,000

ガバナー 武尾 敬之助
 財務委員長 細川 信義
 会 計 伊藤 正之

支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	
委 員 会 活 動 費	20,770,000	22,750,000	
地区ガバナー指名委員会	200,000	150,000	
意義ある業績賞委員会	50,000	30,000	
クラブ奉仕部門			
会員増強委員会	190,000	180,000	
広報雑誌委員会	410,000	400,000	
規定情報委員会	520,000	500,000	
職業奉仕部門	職業奉仕委員会	150,000	130,000
社会奉仕部門	社会奉仕委員会	360,000	350,000
緑化推進委員会	310,000	300,000	
青少年奉仕部門	青少年活動委員会	2,270,000	2,200,000
インターアクト委員会	2,670,000	2,600,000	
ローターアクト委員会	5,100,000	5,000,000	
国際奉仕部門	世界社会奉仕委員会	170,000	150,000
青少年交換委員会	370,000	350,000	
米山奨学委員会	950,000	420,000	
国際交流・平和委員会	200,000	130,000	
ソウル大会行委員会	0	130,000	
拡大部門	拡大委員会	150,000	150,000
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	150,000	50,000
財団奨学会委員会	1,350,000	1,200,000	
研究グループ交換委員会	3,700,000	6,850,000	
財団増進委員会	240,000	230,000	
財団学友委員会	410,000	400,000	
ポリオ・プラス委員会	200,000	200,000	
委員会活動予備費	650,000	650,000	
会 議 費	7,480,000	7,250,000	
地区大会補助	310,000	300,000	
地区協議会補助	310,000	300,000	
地区委員会	2,890,000	2,800,000	
ガバナー打合せ会議費	1,550,000	1,500,000	
R. I. 会長記念品代	160,000	150,000	
同上 歓迎費	370,000	350,000	
直前ガバナー記念品代	260,000	250,000	
G. N. 国際会議参加補助	830,000	800,000	
予 備 費	800,000	800,000	
日本国内地区ガバナー会	200円×4,930人	986,000	940,000
ロータリー文庫協力費	200円×4,930人	986,000	940,000
リハビリテーション世界会議協賛金			
地区大会分担金	3,000円×4,930人	14,790,000	14,100,000
ガバナー月信印刷費	8,800,000	8,500,000	
製版・印刷・送料・ホルダー	8,500,000	8,200,000	
予 備 費	300,000	300,000	
ガバナー事務所経費	22,160,000	20,520,000	
合 計	75,972,000	75,000,000	
次 年 度 繰 越 金	5,478,000	6,000,000	

	元年12月末	元年3月末
クラブ数	70	69
会員数	4,930(予)	4,902

(単位:円)

ガバナー事務所経費内訳		
科 目	予 算 額	前年度予算額
借 室 料	4,130,000	3,520,000
光 熱 費		
貸 金 給 料	9,770,000	9,000,000
ガバナー交通会合費	1,240,000	1,200,000
印 刷 費	1,550,000	1,500,000
交 通 通 信 費	2,060,000	2,000,000
文 献 費	160,000	150,000
事務用消耗品費	1,030,000	1,000,000
什器備品費	420,000	400,000
雑 費	1,550,000	1,500,000
予 備 費	250,000	250,000
合 計	22,160,000	20,520,000

「奉仕の理想」

作詞・元京都RC 前田源一郎
作曲・元東京RC 萩原 英一

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の業い
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー
ロータリー

「我等の生業」

作詞／高野 辰之
作曲／岡野 貞一

我等の生業さまざまなれど

集いて図る心は一つ

求むるところは平和親睦

力むるところは向上奉仕

おお ロータリアン

我等の集い

